

小学校  
6年/総合

## ほかの人には教えてはいけない大切なこと

～発達段階に応じた指導資料の工夫～

実践者 大崎市立鬼首小学校 鹿野田忠之

## 1 学習の概要

### 題材名

ほかの人には教えてはいけない大切なこと

### 本時の目標

アンケートや懸賞のWebページから、個人情報知られて悪用されてしまう場合があることを理解させ、個人情報を大切に扱おうとする態度を養う。

### 本時の学習

#### 学習活動

- 1 懸賞に応募した経験について振り返る。
- 2 デジタル教材を視聴し、プレゼント付きアンケートのページを見つけたマモルの気持ちについて考える。
- 3 アンケートに答えたマモルの気持ちについて考える。
- 4 ダイレクトメールや電話がくるようになってしまったマモルの気持ちについて考える。
- 5 個人情報の内容と個人情報をどのように扱ったらよいか理解する。

#### 本時活用機器・コンテンツ

- ・ビデオプロジェクター
- ・デジタル教材  
「ほかの人には教えてはいけない大切なこと」

#### 補助資料等

- ・みやぎの情報モラル総合サイト  
(ワークシート、デジタル教材ストーリー)

#### 指導上の留意点

- ビデオプロジェクターでデジタル教材を一斉に提示し、登場人物の気持ちや行動について考えさせながら授業を展開する。
- 登場人物の気持ちや行動について、児童同士に考えを交流させながら学んでいけるようにする。
- ワークシートを活用しながら、児童の考えを把握できるようにする。

## 2 学習のポイント

### ・発達段階に応じた指導資料

情報モラルについて指導する際は、児童の発達段階に応じた指導を行うことが大切である。「みやぎの情報モラル総合サイト」には、指導のめやすが示してあり、授業を構想するときの参考にすることができる。

### ・パッケージ化された資料

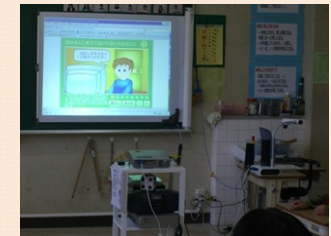
「みやぎの情報モラル総合サイト」には、初めて情報モラルを指導する教員でもすぐに指導できるように、「学習指導案」「ワークシート」「デジタル教材」がパッケージ化されている。

これらを活用することで、効果的な指導を展開することが可能である。

### ・デジタル教材を提示した授業

情報モラルについて指導する際には、禁止事項を知識として教え込むだけではなく、児童に「どのように行動すべきか」を考えさせながら、情報モラルの大切さを実感させることが大切である。

デジタル教材を提示しながら、登場人物の気持ちや行動について考えさせることで、実感を伴いながら情報モラルについて理解させることができる。



## 3 学習のまとめ

デジタル教材を提示しながら学習を進めたことで、児童は登場人物の気持ちや行動についてしっかりと考えながら学習に取り組んでいた。また、自分だったらどのように行動するか、これから先、同じような状況に置かれたらどのように行動すればよいかについても、しっかりと考えながら学習していた。

情報モラルの指導は、大変重要である。また、「みやぎの情報モラル総合サイト」のコンテンツは、指定された学年以外で活用する等、実態に応じて柔軟に活用する必要がある。これからも、有効に活用していきたい。

